

猪苗代スキー場・磐梯山

1/9~12

鈴木鉄也

仲間が知り合いの別荘を借りられるというので、新年会が猪苗代となった。9日の夜、雨の中、車で出発し深夜到着。さっそく温泉に入って寝る。

10日は、空いているゲレンデで一日過ごす。

11日の土曜日は、猪苗代スキー場の一番上のリフトが遅い時間なのに、まだ動かず少し待たされる。

「9時47分」と、見送りの合図に一人で出発する。

赤埴山をトラバースしている頃、時間を確認しようと思ったら自分の時計を紛失しているのに気付く。

雪が少ない。岩場や、灌木のところが空洞になってたりで潜って、歩きにくい。

昨年3月に来た時にアイゼンに履き替えた先で、沢筋をトラバース気味に南稜へ、スキーのまま上がった。稜線に出ると、木がまた大きくなるが、その上に雪が深くついていて、スキーでは上がれなくなる。

スキーをはずしたが、これまた腰まで潜るような状態で、登りがはかどらない。

手前のピークまで上り、一旦下り気味のゆるやかな所に来ると、ますます潜る。本峰は諦めた。来た道を下る。沢筋はおもしろかったが、尾根筋はターンもままならない滑りとなる。赤埴山へ登って、そこから国体に使われた大回転コースのゲレンデに出ようとしたが、これがまた昨年の再現のようなヤブスキーとなった。

スキー場の下で3時半頃ということだった。

12日は快晴だったが、そのまま滑らず帰った。

